

{ 理学療法ジャーナル バックナンバーと特集テーマのご案内 }

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は
弊社販売部 (☎ 03-3817-5660 FAX 03-3815-7804) までお申し込みください。
それ以前の号については東亜ブック (〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11 ☎03-5947-4781
FAX 03-3923-4539 E-mail:st@toabook.com URL:http://www.toabook.com/) にお問い合わせください。



Vol.56 No.2 (2022年2月号)

特集

進歩する低侵襲手術に 応じた理学療法

—治療プログラム, 目標設定, リスク管理

患者の身体の負担が少ない低侵襲手術法の進歩が著しい。手術創が小さく、周辺組織を傷つけない低侵襲手術だからこそ、術後の回復は早く、入院期間も短く、早期に社会復帰が可能となる。低侵襲手術だからその理学療法とは? 低侵襲手術だからそのリスク管理や合併症は? 本特集では、低侵襲手術後の特徴をイラストや写真で解説いただき、理学療法の具体的な目標設定、治療プログラム、リスク管理、課題と展望についてわかりやすく論述していただいた。



Vol.56 (2022年)

No. 1 機能解剖と理学療法

Vol.55 (2021年)

- No. 12 大腿骨近位部骨折 up to date
- No. 11 パーキンソン病の最新知見と効果的な理学療法
- No. 10 タッチ—触れることと触れられること
- No. 9 チーム医療におけるコラボレーション
- No. 8 がん治療のリアル
- No. 7 移動—理学療法からみた学際的探求
- No. 6 Inner & Intrinsic Muscles一筋による関節の安定化、姿勢調整機能を探る
- No. 5 目標に基づく理学療法のための臨床推論—症状・疾患別の実例
- No. 4 皮神経滑走と運動療法の新知見*
- No. 3 重症化予防
- No. 2 関節可動域評価のABC—治療計画につなぐ応用的解釈まで
- No. 1 高齢者の膝関節の痛み

Vol.54 (2020年)

- No. 12 歩行 PART 2 運動器疾患と歩行指導
- No. 11 歩行 PART 1 脳神経疾患と歩行
- No. 10 疼痛に対する最新の理学療法—治療効果を最大化するための理論と実践
- No. 9 軟部組織に着目した理学療法の最前線*
- No. 8 パフォーマンス向上のための筋力トレーニング
- No. 7 脊椎・脊髄疾患の多彩な症状と理学療法
- No. 6 Pusher 現象の謎「傾き」への挑戦—臨床像と治療アプローチ
- No. 5 投球障害を捉える—動作、機能解剖、エコーの活用、予防に対する理学療法士の英知
- No. 4 症例から考える脳幹病変へのアプローチ
- No. 3 地域における予防の効果—理学療法の可能性
- No. 2 薬と運動療法

*在庫僅少

特集

臨床現場に活かすニューロリハビリテーション

ニューロリハビリテーションと理学療法	金子文成
診断技術の原理と進歩	山田尚基, 他
臨床現場に活かすニューロリハビリテーションーVirtual Reality(VR)	田邊淳平, 他
臨床現場に活かすニューロリハビリテーションー運動麻痺	小針友義, 他
臨床現場に活かすニューロリハビリテーションー歩行能力低下	荻野智之
臨床現場に活かすニューロリハビリテーションー疼痛	壹岐伸弥
臨床現場に活かすニューロリハビリテーションーパーキンソン病	近藤夕騎
臨床現場に活かすニューロリハビリテーションー高次脳機能障害	尾崎新平

Close-up

ウィメンズヘルス 産前産後

妊産婦の身体変化とリスク管理	吉田志朗
産前女性への理学療法アプローチ	須永康代
産後女性への理学療法アプローチ	平元奈津子

連載

画像評価—何を読み取る? どう活かす?④

変形性膝関節症(典型的な内側型)	森口晃一
------------------	------

スポーツ外傷・障害の予防④

腰椎分離症	高橋 塁
-------	------

理学療法のスタート—こうやってみよう こう考えていこう④

①動作介助は介助量が多いつもりで—起居動作能力評価と練習	
②「立ちましょう」という前に立てるのか? 歩けるのか? 戻れるのか?	植野 拓

*都合により内容が変更となる場合もありますのでご了承ください。

年間購読のご案内

- 1冊ずつ購入するよりお得! 学割もご用意しております。
- 発行後すぐに送料無料でお届けします!
- 「電子版」なら、1年分の購読料で創刊号からのバックナンバーが読み放題!

お申し込みは医学書院ウェブサイトまたは弊社販売部まで

TEL 03-3817-5659/FAX 03-3815-7804

<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>



2022年 年間購読料

(12冊, 税込, 送料弊社負担)

冊子版	21,912円
冊子+電子版/個人	25,212円
電子版/個人	21,912円
冊子版/学生割引	17,556円
冊子+電子版/学生割引	20,856円
電子版/学生割引	17,556円